

第三回館山市議会议定例会會議錄

(第三号)



昭和四十五年九月招集

第三回館山市議定会定例会會議録（第三号）目次

日	時	三
場	所	三
出席議員		三
欠席議員		四
出席説明員		四
出席事務局職員		五
議事日程		五
開議		六
議案の上程（認定第一号ノ第六号）		六
決算審査特別委員会委員長報告		七
採決		一二
議案の上程（議案第七十五号）		二三
議案の内容説明		二三

採	決	.....	一四
議案の上程(議案第七十六号)	.....	.....	一四
議案の内容説明	.....	.....	一五
採	決	.....	一五
閉	会	.....	一六
本日の会議に付した事件	.....	.....	一六

第三回 廣山市議会 臨時会 第... 目次

昭和... 六月...

第三回館山市議定会定例会會議錄（第三号）

昭和四十五年九月招集

一、昭和四十五年十月五日（月曜日）午前十時

一、館山市議定会本會議場

一、出席議員 二十五名

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 一番 吉田勇治郎  | 二番 石井輝久   |
| 三番 嶋田石蔵   | 四番 伊賀多朗   |
| 五番 藤田益治   | 六番 磯辺博    |
| 七番 白熊盛太郎  | 八番 黒川正    |
| 九番 三幣勇    | 一〇番 西村真次  |
| 一四番 速山ヨネ子 | 一五番 石井正   |
| 一六番 五十嵐昇  | 一七番 江田徳太郎 |
| 一九番 島野茂樹郎 | 二〇番 中村省吾  |
| 二二番 小沢恵太郎 | 二三番 飯田義男  |
| 二四番 田中禄郎  | 二五番 田村源治郎 |

二六番 秋山六三郎

二七番 安沢徳順

二八番 望月照正

二九番 鈴木市蔵

三〇番 山口康

一、欠席議員 三名

一番 菊井敏博

二番 小柴孝

一八番 安西益男

一、出席説明員

市長 本間 謙

収入役 高木 哲三

人事課長 小沢 正治

庶務課長 小倉 澄男

市民課長 佐野 甲子郎

収納課長 横溝 功

水産課長 谷貝 茂生

土木課長 飯田 治男

保健課長 綱島 憲治

福祉事務所長 斉藤 武男

診療所事務長 吉岡 政雄

助役 島山 伝

秘書課長 太田 博

企画課長 伊藤 幸太郎

財政課長 長谷川 広治

調査課長 越路 良夫

農産課長 石井 謀

商工観光課長 鈴木 力

建築課長 池田 春雄

水道課長 大嶋 重義

市民センター館長 羽山 房雄

衛生課長補佐 佐山市 太郎

一、出席事務局職員

消防局長	星野清之助
教育委員 長	高木正
学校教育課 長	吉田隆夫
教育委員 會	小宮義夫
社会教育課 長	榎本繁
監查事務局 長	

消防本部次長	岩田実
教育委員 會	岩崎政光
庶務課 長	川上賢爾
教育委員 會	川上賢爾
保健体育課 長	高山上隆男
選舉管理委員 會	高山上隆男
書記	
農業委員 會	岩崎一郎
事務局 長	

一、議事日程(第三号)

事務局 長	高梨清一
書記	兵藤恭一
書記	渡辺弘
書記	木高松雄

昭和四十五年十月五日 午前十時開議

日程 第一

認定第一号	昭和四十四年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第二号	昭和四十四年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第三号	昭和四十四年度館山市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第四号	昭和四十四年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第五号	昭和四十四年度館山市休養施設特別会計歳入歳出決算の認定について

〔認定第六号 昭和四十四年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について〕

決算審査特別委員会委員長報告

日程第二 議案第七十五号 館山市公営住宅萱野団地建設工事請負契約の締結について

日程第三 議案第七十六号 財産の取得について

開 議

午前十時十四分 開 議

○ 議長 (西村真次君) 本日の出席議員数二十五名、これより第三回市議会定例会第三日の会議を開会いたします。  
本日の議事はお手もとに配付の日程表により行ないます。

議案の上程

○ 議長 (西村真次君) 日程第一、認定第一号乃至第六号昭和四十四年度一般会計並びに特別会計決算書を一括して  
議題といたします。

認定第一号 昭和四十四年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について

- 認定第二号 昭和四十四年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
認定第三号 昭和四十四年度館山市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
認定第四号 昭和四十四年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について  
認定第五号 昭和四十四年度館山市休養施設特別会計歳入歳出決算の認定について  
認定第六号 昭和四十四年度館山市ユースホテル特別会計歳入歳出決算の認定について

### 決算審査特別委員会委員長報告

○ 議長 (西村真次君) 本決算書はとくに去る九月二十五日に特別委員会を設置し付議されたものであります。よつてこれより本決算に対する決算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき委員長報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長 江田徳太郎君。

(一七番議員江田徳太郎君登壇)

○ 一七番 (江田徳太郎君) ただいま議題となりました認定第一号乃至第六号に係る決算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果につき御報告申し上げます。

九月二十五日開会の本会議におきまして、本委員会に付託となりました認定第一号乃至第六号昭和四十四年度館山市一般会計並びに特別会計決算の審査につき、十月一日委員会を招集いたしましたして、各会計における決算を慎重に審査いたしました。

申し上げるまでもなく、本決算につきましては、すでに監査委員の手によつて詳細なる監査が実施せられ、その計数

は正確であり、本年度の決算を適正に表示している旨の意見書が付されておるのであります。

しかしながら、委員会といたしましては、議会の立場より付託されました趣旨を体しまして、これが審査を行なつたのであります。以下本委員会におきます質疑心答等整理いたしましたとして、審議の概要を御報告申し上げます。

まず、一般会計歳出において総務費中、防災対策費でございますが、携帯無線機五台の購入費が計上されておりますけれども、これが平素の訓練あるいは取り扱ひの責任が明確にされておるかとの質問に對しまして、無線機につきましては、通信途絶時の基地局となる消防本部、災害対策本部が置かれる市役所、館山航空隊、警察署、医師会病院の五カ所にすでに配置を完了しておりました、第一回の交信訓練も行ない、受信の結果、感度もきわめて良好である。なお、これが訓練を兼ねまして気象状況、災害状況等を毎日、定時に交信しておりました、合わせて現在交信規則を制定すべくその原案を作制中であり、無線機の取り扱ひにつきましては、それぞれ関係機関に責任者をきめていただいて報告も受けており、非常に備えての体制を講じておる旨の回答がありました。

次に衛生費中、じんかい処理費についてでございますが、現在ごみの収集は、特別清掃地域を中心として行なわれておりますが、環境の浄化ということから、農村地域等においても収集の希望があるけれども、これに對して市は、将来どのように對処していかれる考えか、また不燃性ごみの収集、処理についてはどのように行なつてゐるか、との質問に對しまして、

現在特掃地域以外の農村地域では神戸地区、西岬地区、九重方面においても実施しておりますし、将来農村地帯においても収集について考へて参りたい。不燃性ごみの収集につきましては、特に月一回、これのみを判別収集する方法を行なつておりました、ガラス、びん、瀬戸物類につきましては、ブルトーザーをもつて西長田の処理場に埋め立て処理をしており、あきかん等については、業者が整理してもらつておるとの回答がありました。金物類については、廃物

利用の面から、業者に払い下げる等、この処理方法については、さらに研究されるよう要望いたしました。

なお、四十五年度焼却場余熱利用による老人福祉センター、温水プールが竣工いたしますが、ごみ焼却によりどの程度のお湯を供給できる見込みであるか伺いましたところ、ごみ一トンの焼却により二トンの湯がわくことになつており焼却炉の処理能力が一日三〇トンであるので六〇トン程度のお湯をわかすことができる。その温度は、九四度まで上つておる。これは夏、冬においても大差ないとの回答がありました。

また、焼却場の余熱は主として老人福祉センターに供給するもので温水プールは余力があれば、補給するということであつておるとのことでありました。

次に農林水産業費、商工費における十九節、負担金補助及び交付金につきましては、多くの質疑がなされました。特に館山市の産業に対する振興施策でありますし、その重要性については、十分認めるものでありますが、交付にあつては、それぞれの事業の内容を精査し実態を把握され、これに基づき適切なる行政指導を強く要望いたしましたのでありますが、ことに効果測定の方法については、よりいつそう研究されるよう合わせて要望いたしました。

なお、農林水産業、商工業等につきましては、国の指定統計などが例年実施せられ、当市におきます斯業の動態が明らかにされておりますので、これを十分取り入れ基礎として、将来の進むべき方向づけをなし、市産業の伸展をはかられるようとの意見がありました。

次に教育費中、小、中学校の校舎の老朽度合い等、その状況について市当局は周知されておるか、また、長期的な視野に立つた将来の校舎の新、改築計画を樹立され、これを広く住民に公表し、その協力を求めるなどの姿勢が必要であると考えるが、これに対する当局の見解をただしましたところ、市内小、中学校の校舎の状況については、北条小がすでに完成しました。館山小学校も見通しがついており、豊房小学校は設計にかかつております。これらの学校は、耐久

度が国の補助金交付基準に達した面積を九〇%以上持つ校舎でありまして特に耐久度の低いものであります。この校舎については改築のめどはついております。

その次に六〇%から七〇%の面積を持つ学校に東小、神余小、館野小がある。富崎小が三〇%、あとは一〇%前後で非常に少ない。中学校については耐久度から見ると豊房がいたんである。一中が旧軍施設の利用ということで教室が暗い。このように各学校の状態については十分把握しておりますが、ただ校舎の新、改築にまつては、単に老朽度、危険度のみでなく、教育環境の問題、位置の問題、あるいは運動場の広さ、地元の意向等も参酌の必要があると考えておる。また、これが長期計画については公表の段階ではないが、教育委員会内部においての案は持つているとの回答がありました。

本委員会といたしましては、校舎の新、改築についてはまず、学校の統廃合の問題の解決こそ急務であるとの観点より、これが積極的な努力を要望いたしました次第でございます。

なお、畑小につきましては、豊房小学校が建築される来年度形式統合を行ない、校舎の完成をまつて抜本的な対策を講ずる旨の表明がなされました。

次に不用額についてであります。不用額は各款にわたつて計上されておりますが、予算議決の趣旨からも、あるいは限られた財源を有効に使用する上からも、不用確定の時点において補正を行なうことが不用額を少なくする方途でありますので、その方向で対処されるよう要望いたしました。

次に歳入中、市税であります。市税の収納率は前年度の九六・八%に比較して、本年度は九七・五%を示しております。市当局の努力に対し敬意を表するものであります。滞納繰り越し分については固定化の傾向が指摘されております。収入未済額として千二百七十一万余円が計上されておりますので、さらに一段の努力を傾注し、徴収率の向

上につとめられるよう強く要望いたしました次第であります。

次に、特別会計国民健康保険直営診療施設勘定でありますが、本年度直診勘定において百十四万七千余円の繰り越し決算となつておりますが、将来において、もしも赤字となつた場合、市当局はいかに対処するかとの質問に対し、今後でもできるだけ赤字を出さないよう運営に努力するが、将来、そのような事態を招いたときは診療所設置の趣旨から照らし合わせて考えていきたいとの回答がありました。

次に休養施設特別会計であります。最近における鳩山荘の利用状況についてただしましたところ、昭和四十一年をピークとして、やや、下降線をたどつておりますが、四十五年度の四月から八月までの状況を見ると四十四年度より、上向きになつておるとの報告がありました。

本委員会といたしましては、三十五年開設以来十年を経過して建物、備品等も相当老朽しており、これが将来の整備計画について抜本的に考えべき時期に到来していると思考されるので、合理的な計画を樹立して健全な運営をされるよう要望いたしました。

その他、決算書の各費目にわたり、活発なる質疑がなされました。

以上、本委員会におきます審査の概要を申し述べたのでありますが、各都市における四十四年度決算の動向は、前年度に引き続き、市税収入が鈍化の傾向を示し、一方地域住民の強い要請に基づく、道路、文教、生活環境施設など都市的行政需要は増大の一途をたどり、その財政構造はますます硬直化の様相を呈して参つております。

かかる情勢下になつて、本市においても苦しい財政事情に当面しておつたのでありますが、実質収支七千五百六十五万余円の繰り越しを生み、本決算書を總体的に見ますと予算議決の趣旨にそつて、おおむねその目的を達し得たことを認めるものであります。

今後、市当局におかれましては、財源の確保と経費の節減につとめられ、合わせて予算の合理的な執行によつて、市政の健全を期し、もつて市民福祉の向上と市勢発展をはかられるよう強く要望いたしました。

以上本委員会は、付託を受けました認定第一号乃至第六号昭和四十四年度館山市各会計決算に対し、その正確なることを認め、いづれも認定することに決しました。

ここに、決算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げた次第でございます。

満場の御賛同をたまわりますようお願い申し上げます。以上。(拍手)

○ 議長 (西村真次君) 以上で委員長の報告を終わります。

本報告につき御質疑がありますか。——御質疑なしと認めます。質疑を終わります。

## 採 決

○ 議長 (西村真次君) おはかりいたします。認定第一号乃至第六号を討論省略一括して採決いたしますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつてこれより採決いたします。

認定第一号乃至第六号昭和四十四年度一般会計並びに特別会計決算は、決算審査特別委員会委員長の報告のとおり、いずれも認定と決しますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつていずれも認定と決しました。

### 議案の上程

○ 議長 (西村真次君) 日程第二、議案第七十五号館山市公営住宅萱野団地建設工事請負契約の締結についてを議題といたします。

(書記朗読)

議案第七十五号 館山市公営住宅萱野団地建設工事請負契約の締結について

### 議案の内容説明

○ 庶務課長 (小倉澄男君) 第七十五号議案につきまして御説明申し上げます。

本件は、去る九月三十日第二種公営住宅中層建築というようなことでプレハブ住宅をもちまして、市の公営住宅にしたいということで業者を五業者、安藤建設株式会社、大成プレハブ株式会社、三井建設プレハブ株式会社、東急プレハブ株式会社、日本ブレコン株式会社の五つの業者をそれぞれ指名いたしましたして、指名競争入札を実施した次第でございます。その結果、安藤建設株式会社が五千三百万円をもちまして落札いたしましたので、市の条例の規定によりまして議事に御提案いたし、御議決をお願いしたいということでございます。

なお、御参考までに萱野団地の内容につきまして簡単に御説明申し上げます。地番は国分大塚四百四十五番地の一に

建築いたします。なお、これは四階建てでございます、総延べ坪約四百五十五坪になります。そういたしまして各階に八室の二DK六畳、四畳半、ダイニングキッチン台所兼食堂、便所、浴室、玄関を持つというよりな形で四階ございますので、総三十二室ございます。三十二軒の方が入居できるということでございます。以上御説明申し上げますと、おりのものでございますので、よろしく御承願したいと思います。

○ 議長 (西村真次君) 御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

採 決

○ 議長 (西村真次君) おはかりいたします。本案を討論省略採決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。

おはかりいたします。本案を原案の通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案の通り可決されました。

議 案 の 上 程

○ 議長 (西村真次君) 日程第三、議案第七十六号財産の取得についてを議題といたします。

(書記朗読)

議案第七十六号 財産の取得について

議案の内容説明

○保健体育課長 (川上賢爾君) 議案第七十六号につきまして御説明申し上げます。

去る七月二日の議会におきまして御決議いただきました第三回補正予算に計上中の温水プール用の建物、土地購入費の執行につきまして手配中のところ、十月三十日建物等が竣工いたす予定でございますので、今回議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第三条の規定によりまして、これが取得の御承認を得たくお願いいたします。次第でございます。

なお、建物等につきましてはお示しいたしました土地二、二八四平方メートルと、建物及び関連施設鉄骨づくり平家一部二階建てで一階が一、一〇一・七九ヘーベ、二階が二一五・三六ヘーベ合計一、三一七・一五ヘーベでございます。買収の予定額が土地分が千三百九十七万三千四百九十二円、建物及び関連施設分が八千四百六十三万二千三百八十八円合計いたしまして九千八百六十万五千八百八十円でございます。以上よろしくお願いいたします。

○議長 (西村真次君) 御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

採 決

○ 議長 (西村真次君) おはかりいたします。本案を討論省略採決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。

おはかりいたします。本案を原案の通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案の通り可決されました。

閉 会

○ 議長 (西村真次君) 以上により本定例会に付議されました案件を議了いたしました。よつてこれにて第三回市議会定例会を閉会いたします。

午前十時四十五分 閉 会

○ 本日の会議に付した事件

一、認定第一号乃至認定第六号

一、議案第七十五号、議案第七十六号

地方自治法第二百二十三条第二項の規定により署名する。

館山市議会議長

// 議員

// 議員

西村喜次  
吉田勇治  
安西益男

